

2019年度 第2回 ライフステージ事例検討会 報告書	
日時	2019年7月2日(火) 17時45分～19時00分
開催施設 参加者数	金沢大学11名、福井大学3名、石川県立看護大学7名、信州大学9名、恵寿総合病院2名、石川県済生会金沢病院1名、石川県立中央病院3名、金沢市立病院0名、小松市民病院14名、浅野川総合病院3名、富山県立中央病院4名、高岡市民病院16名、市立砺波総合病院11名、富山県済生会富山病院4名、金沢医科大学氷見市民病院16名、厚生連高岡病院4名、富山労災病院5名、諏訪赤十字病院0名、長野赤十字病院0名 計 113人
テーマ	「揺れ動く気持ちの中で 在宅療養が叶わなかった事例を振り返って ～思いに寄り添う看護とは～」
発表者	市立砺波総合病院 平 優子さん
<p>【意見交換内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの役割を果たすことが出来ない患者の苦悩を認め、受け止めることの大切さについて意見交換された。 ・患者本人だけではなく、家族にも目を向け関わることの必要性についても意見交換された。 <p>【他施設からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと家族の協力を求めると良かったと思う。 ・患者の思いを家族に伝える必要があったのかもしれない(看護師が代弁して)。 ・夫と今後のことや本人の思いを共有するとよかったと思う。 ・夫と2人の時間を大切にしてもらおうとして看護師が夫と話すタイミングを逃したのかもしれない。 ・患者が我慢していることが分かった時点で、医療スタッフに我慢せず言って欲しいことを伝えると良かったと思う。 	
ミニレクチャー	「看護師のグリーフへの援助」